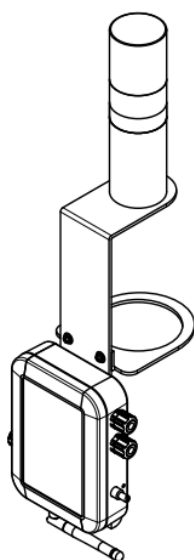


バートリガー（接近警報システム）

取扱説明書1.0.1



本製品は、コーンバー周辺にトリガー磁界をつくることができます。ICタグがトリガー磁界に入ると、表示灯が動作して注意喚起することができます。

1セット	品名	型番	構成品	数量
	本体	MXRT-AL-001	本体ユニット	1
			AC アダプタ DC12V 出力	1
			受信アンテナ	1
			表示灯支持金具	1
			パトライトLR5-101WJBW-R 専用コネクタ取付品	1
	コーンバー	MXTC-CB-001	トリガーコイル内蔵コーンバー	1~3
			終端ケーブル	1

※本書に掲載されている内容は、2019年11月のものです。本書の内容は製品の仕様も含め、改良のため予告なく変更することがあります。



株式会社マトリックス



<https://matrix-inc.co.jp/>

安全上のご注意	3
各部の名称・仕様.....	6
使用方法	9
設置例	11
更新履歴	12




安全上のご注意

人への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および、物的損害の可能性がります。

お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	気をつけていただく内容です。
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告

電源コード・電源プラグの取り扱いについて

異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く。

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある





そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

※すぐに電源プラグをコンセントから抜いて修理をご依頼ください。








※お客様による修理は危険ですから、おやめください。

ぬれた手で、電源を抜き差しをしない

感電の原因になります。

	<p>傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない。破損するようなことはしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 傷つける、加工する ● 熱器具に近づける ● ねじる、無理に曲げる、引っ張る、束ねる、重い物を載せる など <p>感電やショートによる火災の原因になります。</p>
	<p>コンセント・配線器具の定格を超えて使わない。たこ足配線などをしない。</p> <p>発熱による火災の原因になります。</p>
	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む。</p> <p>差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。</p>
	<p>電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。</p> <p>ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。</p> <p>※電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。</p>

本体の取り扱いについて

	<p>本機の上に液体の入った容器などを置かない。</p> <p>液体が内部に入ると火災・感電の原因になります。</p>
	<p>水場などで使用しない。</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
	<p>雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない。</p> <p>感電の原因になります。</p>
	<p>本機を改造しない。</p> <p>内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。</p>
	<p>不安定な場所に置かない。</p> <p>倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 台を使用する場合はぐらつきがない堅固なものをご使用ください。 ● スタンド設置面は平らで十分に強度があることをご確認ください。
	<p>内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れない。</p> <p>火災・感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特にお子様にはご注意ください。
	<p>設置工事が必要な場合は、工事専門業者にご依頼ください。</p> <p>工事が不完全ですと、死亡・けがの原因になります。</p>

注意

電源コード・電源プラグの取り扱いについて



長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。



お手入れのときは、安全のため、まず電源プラグをコンセントから抜く。

感電の原因になります。



電源プラグを持って抜く。

電源コードを引っ張ると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

本体の取り扱いについて



湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



強い衝撃を加えない。

けがの原因になることがあります。



本機の上に物を置かない、乗らない。

倒れたり、壊れたり、落下してけがの原因になることがあります。



接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。

火災・感電の原因になることがあります。



接続ケーブルを壁面に挟んだり、足を引っ掛けたりしないように処理を行う。

火災・感電・けがの原因になることがあります。



移動させる前に接続線などを外す（電源プラグ、アンテナ線、機器間の接続線や転倒・落下防止部品）

電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

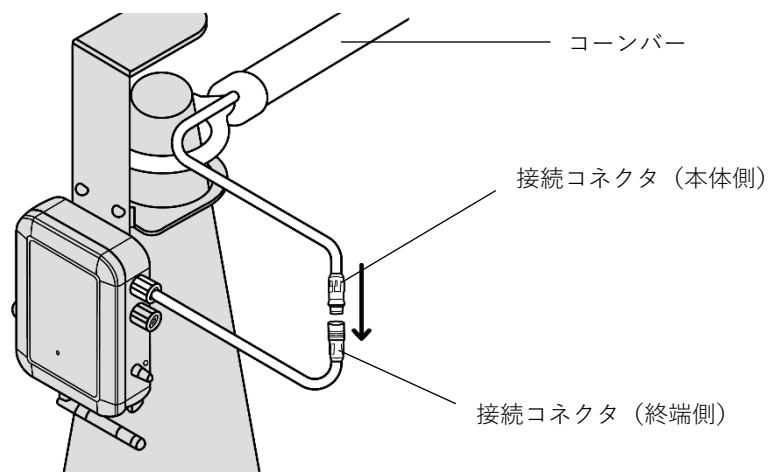
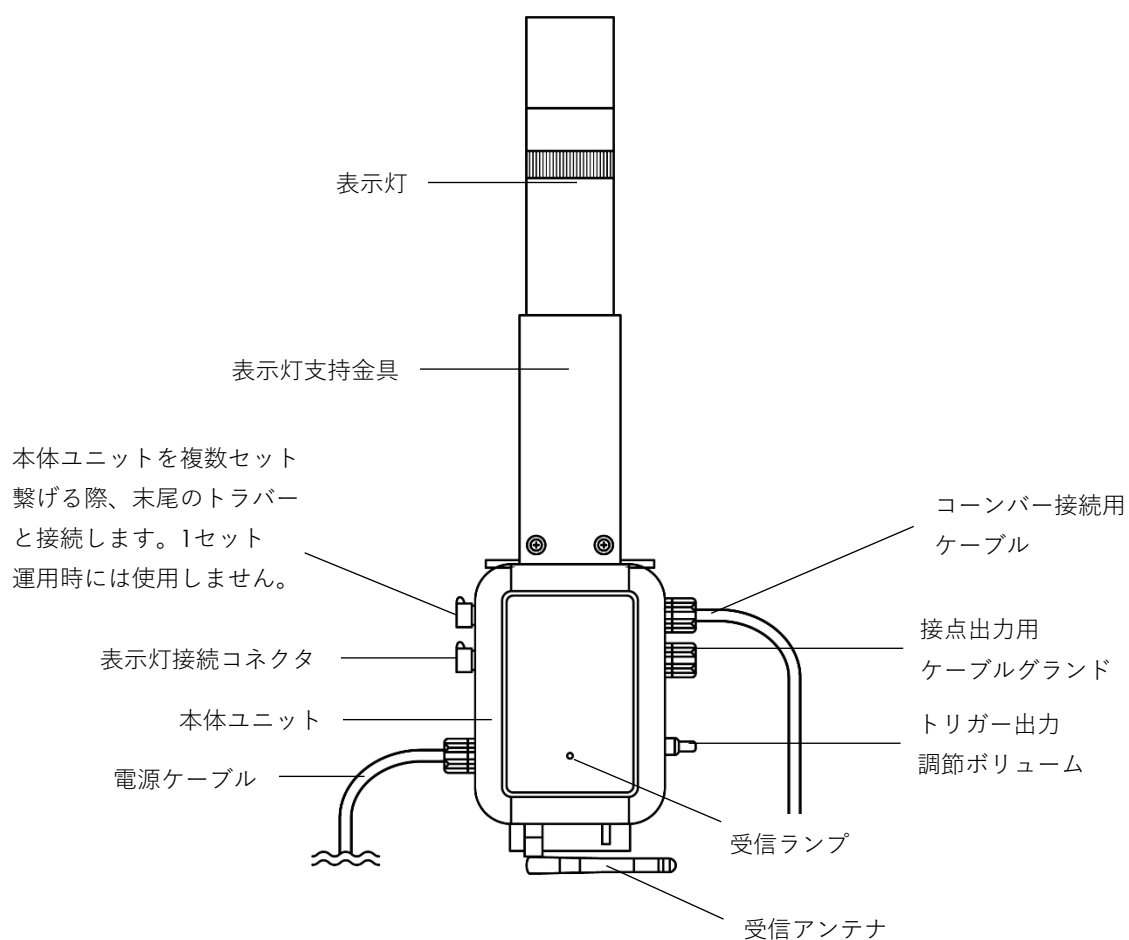


付着したゴミをこまめに取り除く

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。

各部の名称・仕様

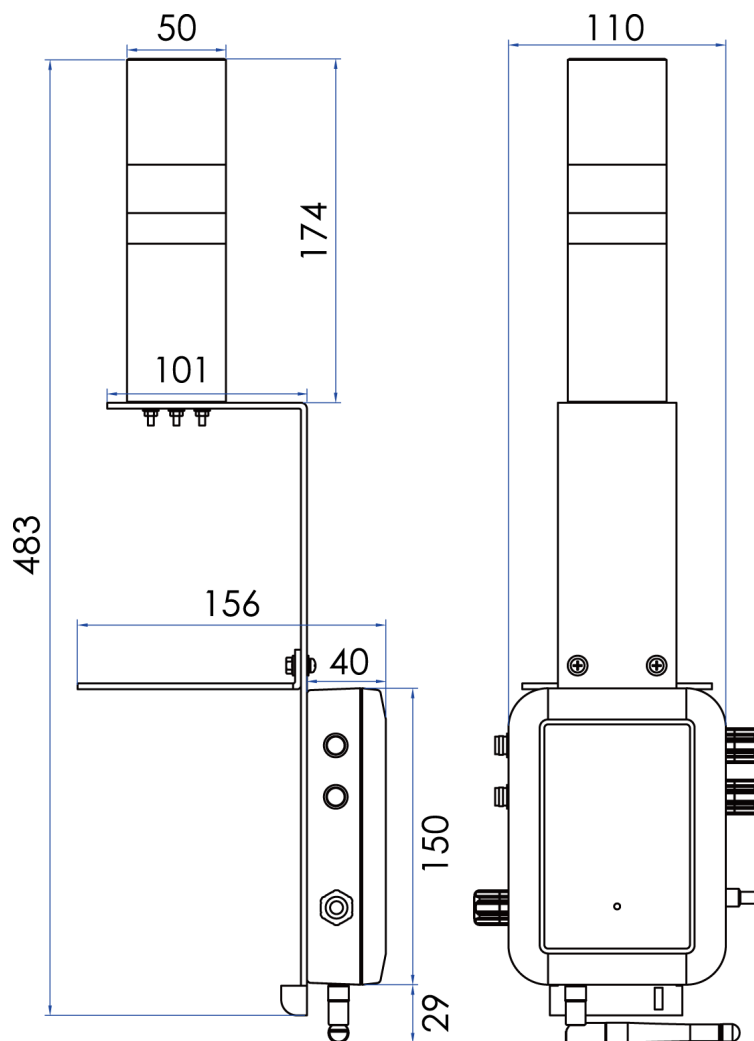
本体ユニット



本体ユニット仕様

型番	MXRT-AL-001
受信周波数	300MHz帯
アンテナ	1
電源電圧	DC12V（付属のACアダプタを使用してください）
消費電流	0.4A
トリガー検知距離（高感度タグ使用時）	最大約4m ※ボリューム調節可能 ● Tag21(L)使用時：約40cm～約4m ● Tag21(M)使用時：約30cm～約2m
接点出力（リレー出力）	定格DC30V 2A C接点2出力 警報出力（表示灯動作）と連動して接点をメイク
動作温度範囲	-10℃～50℃
動作湿度範囲	20%RH～80%RH（結露しないこと）
外形寸法	150mm×110mm×40mm
質量	約0.8kg
付属品	ACアダプタ、受信アンテナ、表示灯、表示灯支持金具

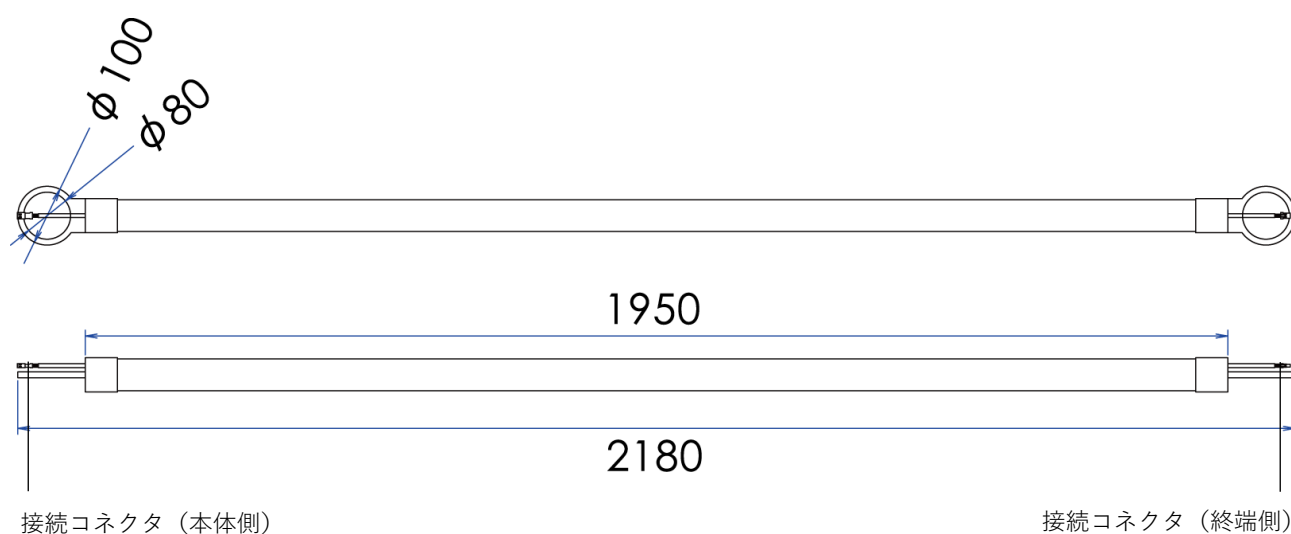
外形図



コーンバー仕様

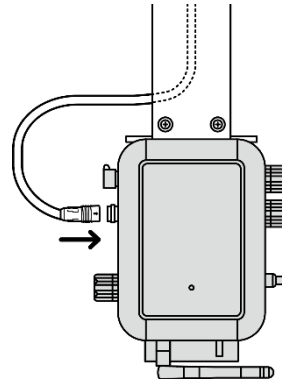
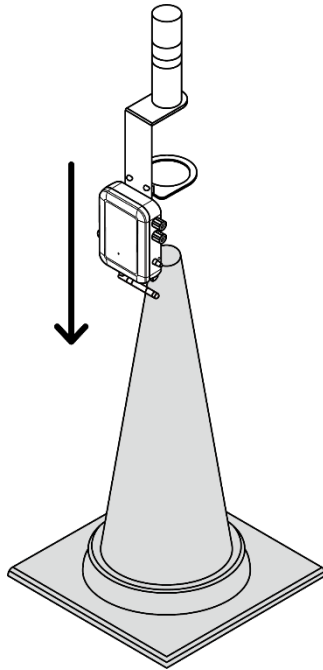
型番	MXTC-CB-001
動作温度範囲	-10℃～50℃
動作湿度範囲	20%RH～80%RH (結露しないこと)
外形寸法	φ54 x 1950mm (突起、コネクタ、リング部分を除く)
質量	約1.5kg
付属品	終端ケーブル (1セット毎に1個付属)

外形図



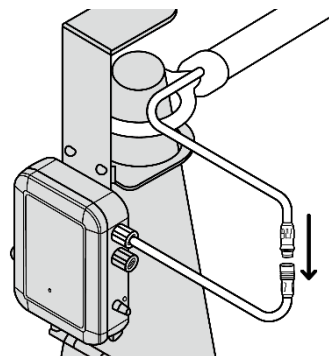
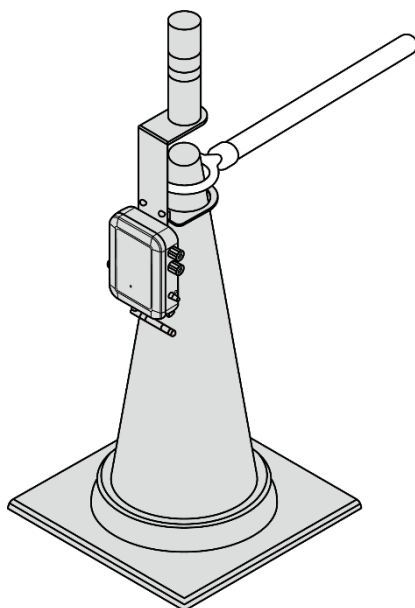
使用方法

1. 本体ユニットをコーンに取り付ける



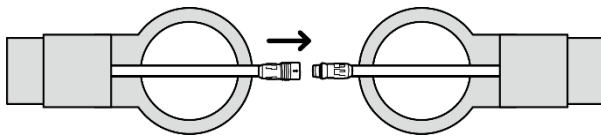
表示灯が接続されていない場合は、表示灯接続コネクタに接続します。
コネクタの矢印の位置を合わせて真っすぐ差し込みます。

2. コーンバーをコーンに取り付ける

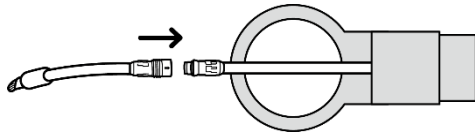


コーンバーと本体ユニットを接続します。接続コネクタ（本体側）を接続コネクタ（終端側）に接続します。矢印の位置を合わせて真っすぐ差し込みます。

3. コーンバーの連結と終端ケーブルの取り付け

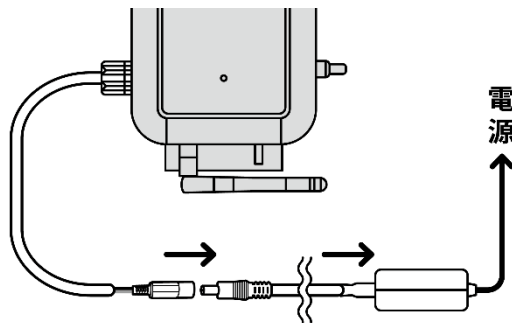


コーンバーを連結する場合は、接続コネクタ（終端側）を次のコーンバーの接続コネクタ（本体側）に接続します。コネクタの矢印の位置を合わせて真っすぐ差し込みます。

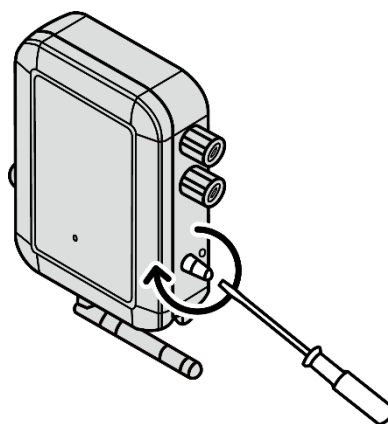


最後のコーンバーの接続コネクタ（終端側）に終端ケーブルを接続します。
コーンバー1本の場合も必ず接続します。

4. 本体ユニットに電源を入れる

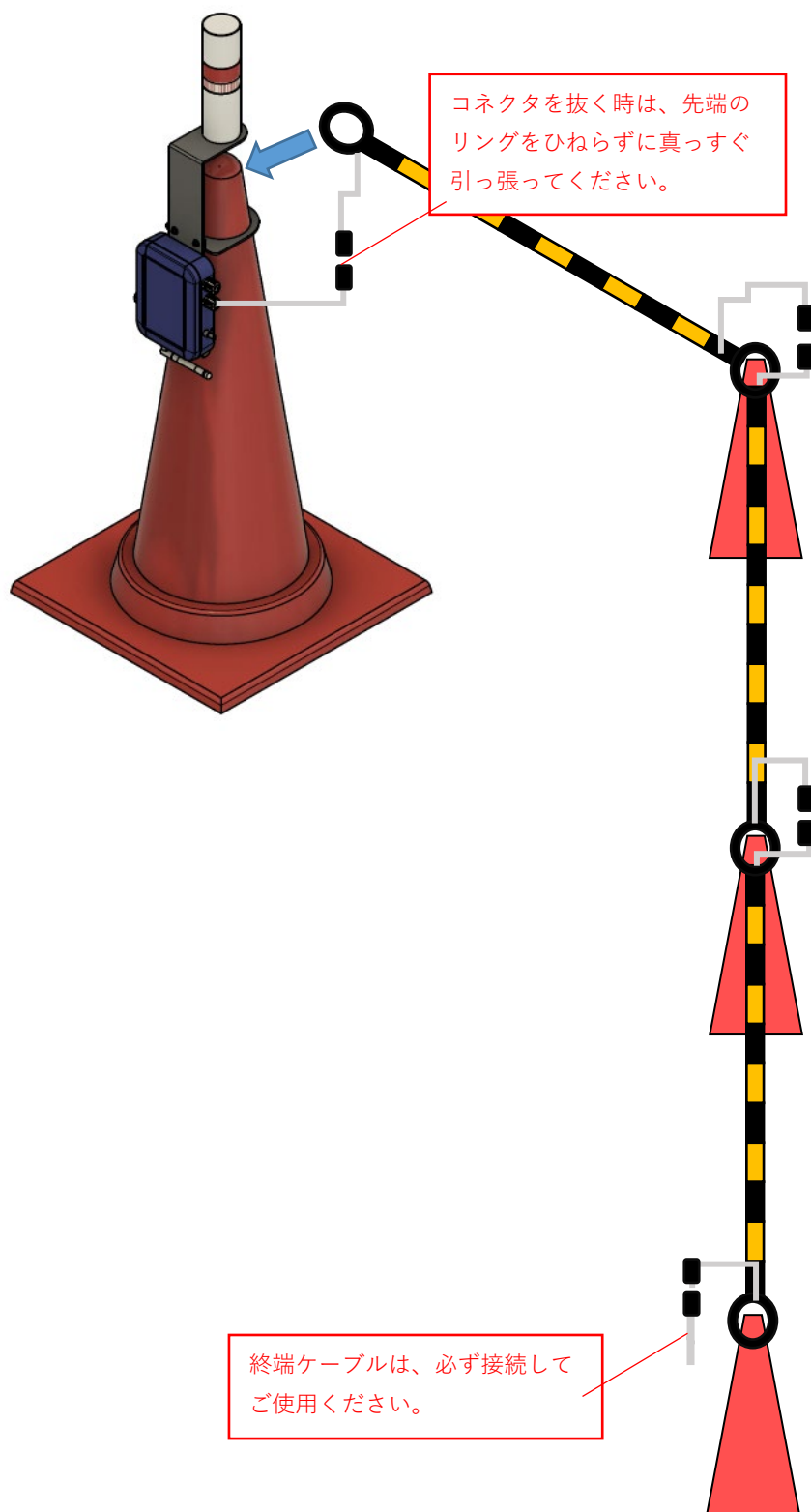


5. トリガー出力を調節する



右回し：出力を大きくする
左回し：出力を小さくする

設置例



更新履歴

更新日付	バージョン	内容
2019.7.10	1.0.0	発行
2019.11.25	1.0.1	検知距離を修正